

## 田上雅徳研究会（西欧政治思想史）

—— 2019年度 書類選考要項 ——

ゼミに入ると、多くの文献をリサーチした上で判断を下し、教師や他のゼミ生に向けて妥当性の高い説明を行わなくてはなりません。

そうした説明能力が現時点でどの程度培われているのか。以下に記す「課題」は、このことを知るためのものです。

なお、次年度の研究会は「中世」をテーマにする予定です。

### 【課題】

森本あんり著『異端の時代——正統のかたちを求めて』（岩波新書、2018年）を読んだ上で、これを批判的に論評した「小論文」を作成してください。

- ※ 「小論文」本文の字数は4000字とします。
- ※ 記述に際しては、『異端の時代』以外に複数の参考文献にあたること。また、ワープロソフトの脚注機能を活用して下さい。
- ※ 本「小論文」の提出者のみが、2月4日（月）「統一選考日」での面接に臨むことができます。なお、最終的な入ゼミ合否の決定は、小論文の出来が大きなウェイトを占めます。

### 【「小論文」の提出について】

締切： 2018年1月31日（木）

方法： 「小論文」は「Microsoft WORD」で作成し、それを添付ファイルして電子メールで提出して下さい。

宛先メールアドレスは tanoue@keio.jp です。

- ※ メール本文と「小論文」には、学籍番号と氏名を必ず明記して下さい。
- ※ 「小論文」受領の通知を返信メールにて必ず行います。2月1日になっても連絡がない場合は、上記のメールアドレスに問い合わせして下さい。

以上